

園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館報

RENDEZVOUS

(ランデブー)

玉上先生と玉上文庫のこと

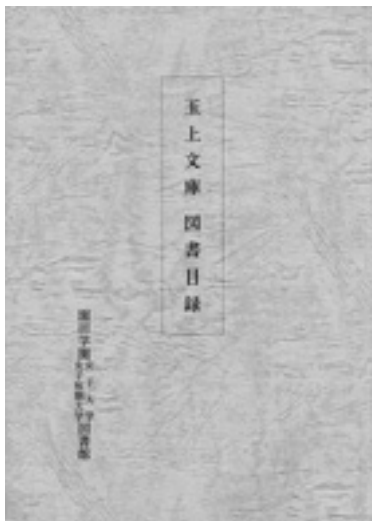
国際文化学部教授 福嶋 昭 治

文学博士玉上琢弥先生は、平成8年8月30日、他界された。

先生の御研究、とりわけ源氏物語研究に積み重ねられた業績の偉大さは、誰もが認める所である。今日の源氏物語の研究と鑑賞のよりどころが、河内本でも別本でもなく青表紙本とされているのも、先生の「中世源語伝本考」における青表紙本の評価が出发点となっている。「昔物語の構成」「源氏物語の構成」「物語音読論序説」「源氏物語の読者－物語音読論－」などの一連の論文における源氏物語の本質についての論考は、刺激的で示唆的で、何よりも学会の議論の質を一段も二段も高めるものであった。さらに、「敬語と身分」「敬語の文学的考察」に代表される敬語研究は、機械的な構成重視の文法研究を否定し、生きた用例に基づいての敬語研究はいかにあるべきかという問題提起と具体的な成果を学会にもたらしたものであった。そうした先生の研究の成果は、角川書店から出版されている『源氏物語評釈』（本編12冊、別巻2冊）における源氏物語の解釈と鑑賞に活かされている。出版されて40年を過ぎて、なお、それを読む人に、研究上のヒントを与え続け、源氏物語を読む「楽しさ」を、味わい続けさせている。

先生のご指導によって多くの成果を生んだ大阪国文談話会の中古（平安時代）部会の、最後の当番校を園田学園女子大学が務めさせていただいた。大阪国文談話会解散後も、園田学園女子大学を会場校として、平安時代文学の輪読会「王朝文学研究会」は続いている。先生は、病床に伏される間際まで、月に一度のその輪読会もご指導頂いた。先生が、最後まで通われた大学は実に園田学園女子大学であった。ご遺族によって、先生の御蔵書はもとより、研究資料一切を園田学園女子大学に御寄贈いただいたのは、そうしたご縁からであった。

そして、そのうちの単行本の約6千冊の目録がとりあえずこのたび発行された。これを御覧になる方は、何よりも先生の蔵書の範囲の広さを驚嘆するだろう。そして、ひょっとしたら、いわゆる「稀覯本」が全くないことにも驚くかもしれない。先生は、いわゆる「蔵書家」ではなかった。平安時代文学の研究においては、もはや稀覯本を収集することは通常は不可能である。とすれば、ともすれば研究者が陥りがちな、趣味的書籍の愛蔵願望を捨てることが研究への忠実な姿勢であった。先生は、そうした点できわめて合理主義者であった。研究の成果が合理的であったことと見事に呼応している。そして、同時に、先生の深い研究が、広い「教養」に支えられていることを『目録』は教えてくれている。



『玉上文庫図書目録』（平成16年12月発行）

大阪女子大学にお勤めであった先生の教えを直接こうむることは男子である私には不可能なことであった。学生時代、大学当局に直訴して、玉上先生を非常勤講師として在学にお招きして以来、30年に渡ってご指導をいただくことになったのは望外の幸せであった。日常の生活においても品格を常に保たれた「粹人」であり、かつ、世情にもよく通じた「通人」でいらっしやう先生は、「光源氏」そのものであった。

甘党であった先生が、京菓子を口にされながら、その蘊蓄を傾けられる時の満足げな表情を忘れることができない。本学図書館において、「玉上文庫」の書籍を手にすることが、学生・市民・教職員にとって、それぞれの新しい世界への広がりへのきっかけとなるのであれば、先生の追善に、これ以上まさることはない。

図書館の動き（2005年度）

□職員の変動

戸井 厚子	リーダー	退職（平成17年3月31日付）
榎本 美紀	チーフ	リーダーに昇格、総務部庶務グループへ転出（10月1日付）
谷 昌子	チーフ	近松研究所より転入（10月1日付）
田中 美生	契約職員	平成17年4月1日付採用

□委員会・会議の開催

1. 図書館委員会の開催

- 第1回 平成17年5月19日(木)
 - ・平成17年度図書館予算について
 - ・「論文集」第40号の発行計画について
 - ・資料の貸出期間・冊数の見直しについて
- 第2回 平成17年7月28日(木)
 - ・資料の共有化について
 - ・外国雑誌の継続購入の見直しについて
- 第3回 平成17年11月24日(木)
 - ・外国雑誌の電子ジャーナルへの移行について
 - ・平成18年度予算要求について

2. 図書館職員会議

- 第1回 平成17年4月20日(月)
 - ・図書整理の外部委託について
- 第2回 平成17年5月20日(金)
 - ・貸出冊数・貸出期間の見直しについて
- 第3回 平成17年6月20日(月)
 - ・AVホール・ブースの改修について
- 第4回 平成17年7月6日(水)
 - ・体験入学の高校生に対する資料の貸出方法について
- 第5回 平成17年9月20日(火)
 - ・看護学科設置に伴う関係図書の配架スペースの確保について
 - ・読書感想文コンクールの実施について
- 第6回 平成17年10月20日(木)
 - ・情報教育センター別置図書の取り扱いについて
- 第7回 平成17年11月21日(月)
 - ・平成18年度図書館予算について
 - ・IDカード導入の方向性について
- 第8回 平成17年12月26日(月)
 - ・資料の選書方法について
 - ・図書館報の掲載内容について
- 第9回 平成18年1月20日(金)
 - ・看護学科関係図書の受け入れ体制について
- 第10回 平成18年3月22日(水)
 - ・AV資料の受入登録基準について
 - ・加除式資料の配架場所について
 - ・図書館オリエンテーションについて

□図書館職員の会議出席・学外研修

- ・平成17年4月26日(水) (神戸大学)
兵庫県大学図書館協議会第1回役員会・企画委員会合同会議 [今村グループリーダー出席]
- ・平成17年5月18日(水) (甲南大学)
兵庫県大学図書館協議会第1回企画委員会 [今村グループリーダー出席]
- ・平成17年5月20日(金) (大阪国際大学)
私立大学図書館協会西地区部会第1回阪神地区協議会定期総会 [中堀職員出席]
- ・平成17年6月24日(金) (神戸薬科大学)
第1回私立大学図書館協会阪神地区相互利用担当者連絡会 [松久職員出席]
- ・平成17年7月7日(木) (日本ヒューレットパッカー)
大学ITソリューションセミナー (個人情報保護と情報セキュリティ対策)
[今村グループリーダー・吉村チーフ出席]
- ・平成17年7月26日(火) (甲南大学)
第104回兵庫県大学図書館協議会総会 [今村グループリーダー・松久職員出席]
- ・平成17年9月13日(火) (神戸女子大学)
第1回阪神地区研究会 [榎本リーダー・松久職員出席]
- ・平成17年9月26日(水) (神戸国際大学情報センター)
兵庫県図書館協議会施設見学会 [松久職員出席]
- ・平成17年9月30日(金) (日本福祉大学)
私立大学図書館協会西地区部会研究会 [今村グループリーダー・吉村チーフ出席]
- ・平成17年10月21日(金) (川西市役所)
兵庫県図書館協会第1回研究集会 [中堀職員出席]
- ・平成17年10月21日(金) (神戸大学)
兵庫県大学図書館協議会講演会(図書館を巡る法制度) [田中職員出席]
- ・平成17年11月15日(火) (梅田センタービルH・J会議室)
大学セミナー&トータルシステム展示会 [井上職員出席]
- ・平成17年12月6日(火) (神戸薬科大学)
第2回私立大学図書館協会阪神地区相互利用担当者連絡会 [松久職員出席]
- ・平成18年2月17日(金) (神戸海星女子学院大学)
第2回阪神地区研究会 [今村グループリーダー出席]

□新学部設置関連業務

平成18年4月新設の看護学科関係資料の受け入れを行った
増加資料数は次の通り

和書(冊)	洋書(冊)	学術雑誌(種類)	AV資料(タイトル)
1,776	124	53	72

□対外関係事業

トライやるウィーク(体験活動週間)の中学生受け入れ

- ・5月30日(月)～6月3日(金)
大成中学校2名
- ・6月6日(月)～6月10日(金)
南武庫之荘中学校4名
- ・11月7日(月)～11月11日(金)
立花中学校4名

選書ツアーの実施

学生自身が試験・レポート等に必要な資料を実際に手に取って選書することにより、図書館利用の促進、蔵書の充実をはかることを目的として実施しました。(第1回6月、第2回12月、第3回2月 於ジュンク堂書店)

前図書館長 宇都宮垂穂先生からのメッセージ



図書館を利用する人たちに、時には多忙の中にも寄り道をして、潤いと楽しみを見出していただきたいとの思いを、それぞれのテーマのもとにさまざまな視点から興味ある事柄を紹介し、学生が幅広く文化的教養の面白さに気づくことを願って、1階と2階の間の踊り場に掲示されています。

《資料増加状況(平成17年度)》

		増加数	累計
図 書	和書	7,307冊	220,616冊
	洋書	325冊	40,842冊
	合計	7,632冊	261,458冊
逐次刊行物		72種	2,591種
A V 資料		688本	10,551本

《貸出状況(平成17年度)》

	貸出図書数	利用者数
学 生	18,057冊	8,182人
教 職 員	2,317冊	1,031人
そ の 他	1,127冊	460人
合 計	21,501冊	9,673人

《開館状況(平成17年度)》

曜 日	開館日数
月曜日～金曜日	216日
土 曜 日	6日
日曜日・祝日	9日
合 計	231日

《相互協力利用状況(平成17年度)》

種 類	受 付	依 頼
複 写	90件	234件
貸 借	29件	35件
閲 覧	10件	10件
合 計	129件	279件

編集後記

平成17年度は“資料の共有化”を推進し、個人研究室配架の資料についても学生が利用できるように協力をお願いした。昨年より利用状況がよくなった一因である。4月からは新学科設置に伴い、図書館も新たな対応が求められることになるが、一層の利用者拡大に向けて努力していきたい。本誌を御覧いただき、御意見などいただければ幸いである。
 (編集担当 谷 昌子)

RENDEZVOUS 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部 図書館報 No.33

[発行日] 平成18年3月31日 [発行所] 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館
 〒661-8520 尼崎市南塚口町7丁目29-1 Tel:06-6429-9931 Fax:06-6429-2822
<http://www.sonoda-u.ac.jp/tosyo/> E-mail:lib@sonoda-u.ac.jp